



ちょっとお出かけ い〜な旅
2018/8/1 (水)

平成 30 年度 第 5 回ツアー 伊那富士に登ろう！

い〜なガイドの会
い〜な旅チーム
白鳥 まち子

行程

駒ケ根市キャンプ場經由
戸倉山
入野谷

8月1日、い〜な旅初企画の「伊那富士に登ろう！」が行われた。伊那方面から望む姿が富士山に似ているため「伊那富士」と称される戸倉山は標高1681メートル。伊那市長谷と駒ケ根市にまたがり頂上からは南、中央、北アルプスの山々を一望できる。今回は駒ケ根側のキャンプ場からのコースを歩いた。

準備体操をして9時出発。砂防堰堤工事現場を右に見て仮設の急階段を登る。いきなりの急登に和やかな話し声も消え、ひたすら前の人を追う。この階段に皆ぐったりし小休止。

水分、塩分を補給して馬止めの松へ。かつて村人が馬で材木の運び出しを行ったこと

自生するミズナラなどで炭焼きが行われたことなど、山と村人の密接な関わりをガイドから聞いた。

その後も休憩をたびたび入れながらひたすら登り、猿の松、天狗伝説の岩を経て金明水に到着。湧き出すまろやかな水に渴いた喉を潤した。

ひたすら続く急こう配20分ほど登って西峰に到着。ここでアルプスの大パノラマを楽しむはずが、この日の山々は薄いベールに覆われかすんでいる。木々の間に鎮座する不動明王を拝し、避難小屋を経てほどなく東峰に着いた。

山頂には涼風が吹き渡り、薬師如来像が皆を迎えてくれた。

登り始めて2時間半、登頂に安どの声と達成の笑顔が広がる。ここにある薬師如来像は平成14年の建立だが、この地と薬師如来の関わりは天平时代までさかのぼり、かつてはお堂があって多くの人の信仰を集めていたという。

昼食後は、眼下に広がる長谷の里の景色に会話を弾ませた。眼前の仙丈ヶ岳は残念ながらかすみ、頂上付近は沸き立つ夏雲に遮られていた。

下界の猛暑を思えば立ち去り難いが、登り来た道をひたすら下山。ときどき振り返り、よくこんな急坂を登ってきたものだとお互いの健闘をたたえ合いながらキャンプ場まで下った。